

令和3年度 第1回 二宮町環境審議会会議録

日 時：令和3年11月1日（月） 午前9時30分～11時30分
場 所：二宮町役場3階 議会第1委員会室
出 席 者：室田会長/志賀委員/渡辺委員/土谷委員/和田委員/坂本委員
事 務 局：椎野都市部長/安藤生活環境課長/山下環境政策班長/岩本主事補

1. 開会

村田町長：本日はお忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。今年から次期環境基本計画策定に向けて、計画の改定作業を進めてまいりますので、よろしくようお願い申し上げます。

さて、気候変動問題がある中で、二宮町では大きな公共施設の電力を一括で契約しているところですが、次年度以降、再生電力への切り替えを進めていくことも考えていかなければなりません。

また、二宮町では里山整備に関する問題や、サルやイノシシの出没が増加していることなど、自然の変化への対応が必要であると考えております。皆さまのご意見等をいただきながら、一歩ずつ着実に施策などを進めてまいりたいと思いますので、引き続き、お力添えくださいますよう、お願い申し上げます。

2. 委員紹介

会 長：東海大学教養学部の室田と申します。専門は、植物の体の中の働きについて研究しています。そこから派生して、食品廃棄物の農業利用や、鳥獣被害などについても研究しております。私は継続となりますが、引き続きよろしくお願いいたします。

3. 議題

（1）二宮町第2次環境基本計画後期実施計画（令和2年度）の進捗状況について（案）

『資料1：二宮町第2次環境基本計画後期実施計画（令和2年度）の進捗状況について（案）』

『資料2：二宮町第2次環境基本計画後期実施計画（令和2年度進捗状況一覧）』

『参考1：令和2年度の進捗状況等に関する委員意見一覧』

について事務局より説明

【審議結果】

- ・資料『参考1：令和2年度の進捗状況等に関する委員意見一覧』でとりまとめた意見について、審議会意見とする。
- ・町のホームページを刷新したが、環境のバナーがスマートフォンで開くと表示されないため、スマートフォンで開いた際もわかりやすくなるよう改善する。
- ・若い世代向けの啓発として、試作の段階ではあるが、短い啓発動画をYouTubeに投稿し、概要欄に町のホームページのリンクを貼るなど工夫する。
- ・町のホームページに、神奈川県などで実施している事業などをリンクさせ、啓発から行動に促せるようなホームページを作成する。

【質問・意見等】

- 委員：これだけ町で普及・啓発を行っているので、環境審議会も堅いイメージではなく、HPのリンクのデザインを変更するなど、今の若い方が自分も将来環境審議会に関わって、二宮町を良くしていこうと思うようなアピールができるようなものがあれば良いと思います。
- 委員：私はもりびとNOAの方々と、川勾地区の山で竹林整備をしているのですが、竹が暴れており、イノシシも出没している状態でした。私は竹林整備を通して、炭焼き会の方々と活動が似ていると思いました。先ほどの説明で紹介いただいた町のホームページがあることで、町内の様々な団体の横の繋がりが促進されると思いますので、個人的にも周知していきたいと思います。
- 事務局：ありがとうございます。是非、よろしく願いいたします。
- 会長：私は秦野の山奥で学生と田んぼをやっているのですが、去年はイノシシが出没し、お米が駄目になってしまったのですが、今年は裾の竹林を全て刈ったところ、被害が一切なくなりました。そのため、少しの整備でも効果があるのではないかと思います。
- 委員：やはり竹が暴れてしまうと、イノシシも住みにくくなり、里に下りてくるのではないかと思いますので、ローカルアクションをおこなっていくことが大切だと思います。
- 委員：私は小学校・中学校のみではなく、小さい頃からの教育や、老人になっても学び続けることで、町が良くなるのではないかと考えています。事務局から説明いただきました町のホームページやマイエコ10宣言など、大変ではあると思いますが、是非続けてほしいです。小さなことでも継続していくことが大切なので、皆さんが取組んでいることを支えていきたいと思います。
- 事務局：ありがとうございます。
- 会長：町のホームページを開いた際に、パソコン上では右に出ている環境のバナーが、スマートフォンで開くと表示されません。学生も含め、今はスマートフォンがメインになりますので、スマートフォンの画面も改善できると良いと思います。
- 事務局：スマートフォンでもお調べいただき、ありがとうございます。
現在、広報担当課とも調整中で、スマートフォンで開いた際もわかりやすくなるよう、改善を進めているところです。
- 会長：どこのホームページもそうかもしれないのですが、興味がないとホームページを開く機会は少なくなると思います。積極的に町のホームページを開いていただけるような方法など、何かありますか。
- 委員：今のご意見なのですが、体験をすることで自分事になると思います。私も二宮町の竹林を整備したことで、初めて緑豊かに見えた町が、荒れていて良くない状態であることが分かったので、体験と町のホームページを結び付けることができれば、より調べてみようという気持ちになるのではないのでしょうか。
- 事務局：ごみの減量化や地球温暖化に興味がないと、町のホームページを開いてもらえないということについては、常々、意識しながら検討しております。そこで、まだ試作の段階ですが、若者に興味を持ってもらえるような啓発動画を作成しております。

す。こちらの動画は YouTube に公開していきたいと思っております。1つの動画を1分以内に収め、20~30本ほど啓発動画を作成し、ごみの減量化や、地球温暖化防止に関わることをお知らせしていきたいと思っております。また、YouTubeの概要欄には町のホームページをリンクして、興味がある方に検索していただけるよう、工夫していきたいと思っております。

委員：町民への啓発が大きな比重を占めていると思うのですが、事業系ごみより家庭系ごみを減らした方が、環境負荷が減るのでしょうか。

事務局：はい。事業系ごみは多量排出事業者と呼ばれ、大型スーパーなどのことを指し、事業者の方が直接環境衛生センターにごみを持込んでいただく形となります。こちらは全体の1割ほどとなっております。それ以外に黄色いごみ袋でごみを出している事業者もおりまして、こちらの排出量は町で把握できていないのですが、家庭系ごみの方が圧倒的に多くなっているため、当町では、家庭系ごみを減らした方が、ごみの減量が進むと考えております。

委員：最近キエー口を購入したのですが、生き物を飼っている感覚になりました。キエー口は、毎日生ごみなどを食べさせてあげたいという感覚になるかもしれません。なので、先ほど説明いただいた啓発動画などで、PRをするのはいかがでしょうか。

事務局：キエー口につきましてはより普及していくよう、引き続き啓発をしていくことが必要と考えております。

委員：マイエコ10宣言で宣言をした後に、どう行動していくのかが大切だと考えています。例えば、パワーシフトというキャンペーンがあり、アクセスすると電力切り替えの方法や、どのような契約形態があるのかなどが掲載されています。このように情報収集の後に、行動へ集約していけるような流れを町のホームページに取り入れてみるのはいかがでしょうか。啓発から行動の流れを作れると良いと思います。

事務局：神奈川県で実施している電気の共同購入や、ソーラーパネルを初期費用0円で設置できるキャンペーンなど、町のホームページから神奈川県のホームページにリンクするようにしております。是非パワーシフトなどの情報を提供していただければと思います。

委員：学校で環境学習の話をする時に、キエー口の説明をするなど、町と学校が連携していくことで、少しずつ広がっていくと思います。

会長：二宮町は小中学校が給食なので、町で出た食品廃棄物をキエー口に入れてみてはいかがでしょうか。

事務局：二宮町の給食は、給食センターに運ぶため、一括して大型のごみ処理機を使用しております。

(2) 二宮町第2次環境基本計画後期実施計画（令和3年度）の事業計画について

『資料2：二宮町第2次環境基本計画後期実施計画（令和2年度進捗状況一覧）』

『参考2：令和3年度以降の事業計画に対する委員意見一覧』

について事務局より説明

【審議結果】

- ・『参考2：令和3年度以降の事業計画に対する委員意見一覧』でとりまとめた意見について、審議会意見とする。
- ・参加人数だけで事業の評価をするのではなく、他の指標で評価ができるよう、今後の継続課題として検討する。
- ・オンラインのみに頼るのではなく、できる限り対面での啓発も取り入れていく。
- ・再生可能エネルギーに変更していけるよう、検討する。

【質問・意見】

委員：意見でも記入したのですが、事業の評価をする際、参加人数などの数値目標が一番わかりやすいと思います。しかし、コロナ禍において、イベントがオンライン開催になる場合もありますし、参加人数だけで評価をする方法ではなく、他の方法で評価ができるように変更する方が良いと思います。早急には難しいので、今後に向けて考えていくことが必要だと思います。

事務局：今後の継続課題とさせていただきます。

委員：評価の方法も考えていかなければならないと思うのですが、オンラインとリアルとの差も気になっています。先ほどのホームページも充実すると良く見えますが、逆にネットにアクセスできない人を取りこぼしている気がしてしまいます。ふるさとまつりなどに環境のブースがあると、環境に興味がない方でも立ち寄りいただきたりするので、ネット環境がない方でも、こういったイベントで情報を入手できると思います。オンラインでの実施は楽かもしれませんが、情報アクセスができる人とできない人との格差がでてしまい、進んだように見えて後退してしまっているのではないかと危惧しています。

事務局：今いただいたご意見はごもっともであると思っております。事務局といたしましても、人とのコミュニケーションが大切だと考えております。特に、対面でのイベントなどを実施することで、互いに共感も生まれるのではないかと考えております。

先ほどの町のホームページは、先を見据え、時代に置いていかれないように進めている取組みとなっております。今まで実施してきました取組みにつきましても、引き続き実施していきたいと思っております。

例えば、町内の通いの場に出向き、お年寄りの方から環境にやさしい取組みについての知恵を教えていただきたいと考えております。そこで得た情報から、おばあちゃんの知恵袋のようなものを作成し、子育てサロンや町のホームページなどで情報提供していく仕組みを作りたいと考えております。広報紙に掲載するだけではなく、実際に出向き、啓発していくことが重要だと思っております。

委員：子どもたちが、二宮町の環境団体がおこなっている地域活動の話聞きに行き、体験から得たことをラディアンのホールで発表する、「ぼくたちわたしたちの地球会議」があったのですが、子どもたちが、大人から子どもまでを繋いでくれると感じました。大変だとは思いますが、こういったイベントを大切に育てていけると良いと思います。

事務局：「ぼくたちわたしたちの地球会議」は初めての取組みでしたが、もりびと NOA の

若者たちが、団体の方と子ども達との間をうまく取り合っただき、実施することができたと考えております。

委員：事業の評価についてですが、参加者 100 人を目標にして、100 人集まれば良いという評価は違うと思います。ですが、他に数値目標を考えることも難しいので、前からの課題だと思います。

また、事業計画なのですが、内容が毎年コピーアンドペーストになっている事業もあり、今年度と昨年度とで、どこが変わっているのかが分からない状況があるので、難しいとは思いますが、改善すべきだと思います。

委員：ごみの施策に関しては、減量したごみの量などで考える方が良いと思います。イベントに何人来られたかではなく、最終的にどれだけごみが減量されたのかを数値目標とすれば、イベントの人数に左右されずに適切な評価をすることが可能だと思います。また、松枯れ防止についてなのですが、薬剤を注入することだけではなく、土壌から改善していかなければならないと思います。そういったことから本当の意味での評価が必要であると思います。

委員：ごみの減量化や地球温暖化防止については啓発していますが、環境団体すら公共交通機関の課題は避けて通る傾向があると思います。特に毎年話題に挙がりますが、コミュニティバスなども課題です。

委員：ブラジルのようにバス専用レーンを整備したり、他の市町村のように、街中の様々な場所に電動自転車を設置するなど、町全体で仕組みを変えていく必要があると思います。

委員：私はバス会社にいましたが、安全優先だとお金がかかるので、補助の仕組みを根本的に見直さないと、バスの本数を増やすことなどはできないと思います。バスではなく、小回りが利く相乗りタクシーを取り入れていくのはいかがでしょうか。

事務局：前に、駅から近いですが坂が多く、細かい所までコミュニティバスが入っていけない富士見が丘地区で実施したことがあります。ご意見をいただいて導入しましたが、利用者がほとんどいなかったため、2～3年で廃止となってしまいました。

委員：前に釜野にバスを通していただいたことがあったそうなのですが、乗車率が悪かったようです。実際動いてみると不便と感ずることも多くあるようです。難しいと思いますが、ごみの減量化などのように公共交通機関も同等に扱っていただきたいと思います。

会長：こちらは続けて審議という事で、よろしくお願ひいたします。

委員：町長がおっしゃっていたのですが、電力の切り替えはどのような予定になっていますか。

事務局：まだ正式ではないのですが、来年度から再生可能エネルギーを供給していただける電力会社と契約をおこなっていかないか検討しているところです。全施設なのか、大きな電気を使用しているところからシフトしていくのかにつきましても、今後検討していく予定で動いております。

(3) 次期環境基本計画の策定について

『非公開資料 1：第 3 次二宮町環境基本計画策定のための町民アンケート調査結果（概要

版)』

『非公開資料2：第3次二宮町環境基本計画策定のための町民アンケート調査報告書』
について事務局より説明

【審議結果】

- ・竹林を整備している団体と連携して、竹の価値化について検討する。
- ・次期環境基本計画に興味・関心を持っていただくためにも、計画の内容やつくりなどを検討する。

【質問・意見】

委員：気候変動に対する対策で、適応策が中心に上がってきてしまうのですが、緩和策も大切だと思います。適応策に引っ張られ過ぎないような緩和策を、二宮町でもやっていただきたいと思います。

事務局：次期環境基本計画策定についての補足となります。策定イメージといたしましては、若者世代のご意見を吸い上げていくためにワークショップを実施させていただく予定です。また、2次計画策定時と同様に、委員の皆さんと町の班長級の職員が施策ごとに分かれて話し合い、策定いたしました。次期環境基本計画策定時も同じような形をとらせていただきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

また、先ほどのワークショップにつきましては、町民の方と委員の皆さんだけではなく、役場の若手職員も参加して話し合いができないか、現在調整しております。

会長：各施策を連携するような組織はないのでしょうか。環境は様々なことに繋がっているのですが、施策ごとではなく、施策と施策の間の話合いの場などがあるといいのですが。

事務局：最初に部会を開催し、その後の環境審議会が大元の話合いの場になります。

委員：若い人の意見が少ないという話に同感です。町民アンケートを送付したのは18歳以上の町民とのことですが、年齢内率はどうなっているのでしょうか。

事務局：内訳につきましては、二宮町の人口分布に応じて無作為抽出をおこなったため、若い方への送付枚数自体が少なくなっております。

委員：18歳以下の意見は取り入れないのでしょうか。

事務局：今年、二宮町第6次総合計画策定のために、小学校6年生と中学校3年生にアンケート調査を実施したところ、環境のことについてもいくつか意見が挙がっておりました。

そのため、下位の環境基本計画につきましても、中学生向けにアンケート調査を実施していきたいと考えている段階です。

委員：アンケート調査で、あなたは環境基本計画を知っていますかなどの問いかけはしなかったのでしょうか。せっかく環境基本計画を策定しても、町民の方に知っていただかないと意味がないので、見せ方についても考える必要があると思います。

また、前回の環境基本計画改定時なのですが、班長級の方々と話すため、身構えてしまう部分がありました。

事務局：生活環境課の職員やコンサルタントを適正に配置して、対応させていただければ

と思います。

委員：外部からのコンサルタントではなく、できれば二宮町在住で、こういった視点をもっている方をお招きできれば良いと思います。

委員：次期環境基本計画の策定は、最初からグループでやるのでしょうか。それとも大枠を決めてからグループに分かれるのでしょうか。

事務局：まずは方向性を決めてから、グループに分かれて議論をしていただく予定です。また、第2次環境基本計画を継承しながら、変更すべき点を変えていく流れで進めさせていただきたいと思っております。

委員：竹の整備に関してなのですが、竹を価値化させるためにもチップを導入していただけないか。その場ですぐにチップ化し、里山にまいたり肥料にしたりできるため、検討していただきたいです。

委員：キエー口に竹のチップを入れると、生ごみの処理にかかる時間が短縮され、更に効果がでます。

事務局：検討させていただきたいと思います。

委員：金木犀が今年3回咲いた報告がでています。地球温暖化の影響かどうかは分かりませんが、こういった事例を集めることで、関心をもつていただく手法を取り入れてみてはいかがでしょうか。次の環境基本計画は、身近に落とし込めるような工夫が必要だと思います。ただ立派な冊子を作成しても、誰も知らないということになりかねないので、身近な話題になってほしいです。

事務局：総合計画は、町民の方にも入りやすいような形にしているという話を聞いております。興味をもつていただけるような作りにはすることは重要なので、そのあたりのご意見をいただければと思います。

委員：負担が大きいと思いますが、大人バージョンの環境基本計画と、子どもバージョンのニーノとミーヤのイラストがたくさん入った環境基本計画を作成できれば一番良いと思います。

会長：議論の場に子どもも参加してもらおうなどの工夫ができると良いと思います。

事務局：事務局といたしましては、先ほど説明したワークショップを計画策定時のみに終わらせるのではなく、毎年 PDCA サイクルで回していく中で、ワークショップを取り入れていくことも一案だと思っております。そこから、子どもたちがこういうことをやってみたいという案がでた際は、大人が支えてあげられるような環境を作っていきたいと考えております。

是非、皆さまのお知恵をお借りできればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(4) その他

事務局：次回の開催は年明け以降を予定しております。新型コロナウイルスの感染拡大状況によりましては、対面とオンラインを合わせましたハイブリッド方式での開催も考えておりますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

4. 閉会

事務局：本日は長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。
これもちまして、本日の環境審議会を閉会とさせていただきます。
ありがとうございました。